

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	三井化学株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー
工場等の名称	三井化学株式会社 名古屋工場
工場等の所在地	名古屋市南区丹後通2丁目1番地
業種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	ウレタン樹脂原料、半導体製造工程用テープ、表面保護用粘着テープ、高機能不織布、及び電解液等の製造
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	令和5年7月19日 ~ 令和5年10月17日		
公表方法	○	掲 示 閲 覧	(場所) 三井化学株式会社 名古屋工場 管理部
		ホ ー ム ペ ー ジ	(HPアドレス)
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)
		そ の 他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	Kikuhiko.Mizuno@mitsuichemicals.com		

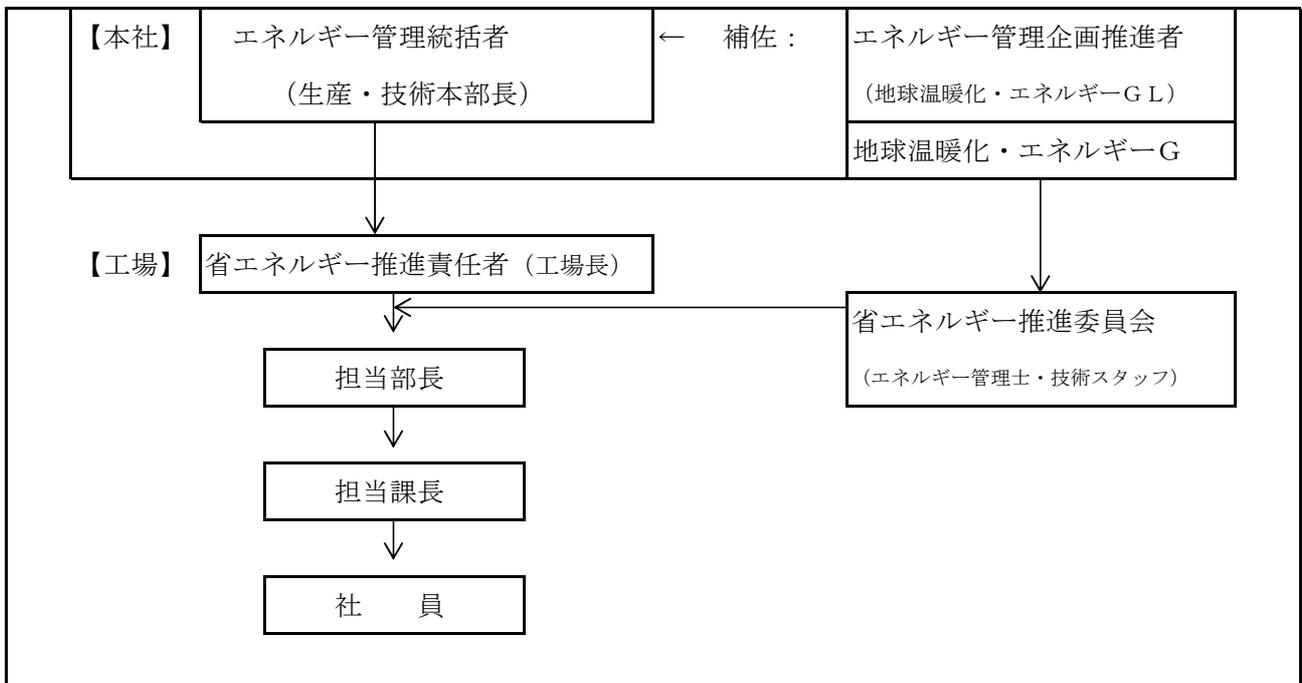
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

別添資料参照



(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		30,883	t-CO ₂
（温室①を酸効果除く炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		30,883

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	34,047	t-CO ₂	33,700	t-CO ₂	30,883	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.0	%	9.3	%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績			
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
原単位あたりの排出量								
削減率（対基準年度）				%		%		%
原単位あたりのみなし排出量								
削減率（対基準年度）						%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

生産プラント全般に生産量減で推移。エチレン換算生産量で見ても前年度対比85.1%と低下した。それに加え省エネ施策としてプロセスの見直し、照明のLED化等を進め、前年度対比233 tを削減した。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 4 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

PPAによる太陽光発電システム導入の検討を決定。 24年2月稼働予定

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--

レスポンシブル・ケアポリシー

我々 三井化学名古屋工場は、地域と社会の期待と信頼に応え、社会の持続可能な発展に貢献するべく、レスポンシブル・ケアポリシーを定め、ケミカルとICT・加工品 両利きの工場として競争力ある製品を製造・供給し続けます。

◆安全：安全はすべてに優先する

「安全はすべてに優先する」を全員が心に刻み、無事故・無災害の実現を追求する

◆環境：環境負荷低減を推進する

環境負荷低減への積極的取り組みを通じ、地域との共生・融和を図る

◆健康：従業員の心と身体健康増進に取り組む

従業員の自主的な健康増進を支援し、活気ある職場環境の形成を促進する

◆コンプライアンス：法令、ルールを遵守する

法令、ルールの目的を理解することにより、全員で遵守意識を高める

◆品質：お客様が満足する製品とサービスを提供する

お客様が期待する価値を理解し、品質へのこだわりを持って改善し続ける

◆人材：「自ら考え自ら行動する」人材を育成する

競争力ある工場として、「自ら考え自ら行動する」組織文化を伝承していく

◆チャレンジ：失敗を恐れず果敢に挑戦する。

「自ら考え自ら行動する」ことにより、現状に満足することなく
技術・製品・業務を改善しつづける

2021年4月1日
三井化学株式会社 名古屋工場

工場長 石井 浩